

曹青通信 第96号

いわて

発行者 岩手県曹洞宗青年会

惠津森 哲夫

発行所 岩曹青事務局

〒028-3201 岩手県花巻市大迫町内川目 48-29
桂林寺内

TEL:0198-48-2020 FAX:0198-48-4040

題字/宗務所長 海野義清老師

編集/事業部 印刷/奥州市 正和印刷



第49回 みちのく緑蔭禅のつどい

平成26年7月25日(金)～26日(土) 盛岡市 報恩寺にて

◇第49回みちのく緑蔭禅のつどい

◇『緑蔭禅のつどいについて』研修部長 長泉院住職 鈴木道将

◇東日本大震災被災地供養行脚 7.3 九戸郡野田村 11.11岩泉町小本

◇平成26年度第1回教養セミナー「私の考えるお寺の未来」

◇教区懇親会「三陸鉄道南リアス線レトロ列車の旅」

◇第39回曹洞宗青年会東北地方集会秋田大会

◆第四十九回みちのく緑蔭禅のつどい

平成二十六年七月二十五日(金) 二十
六日(土)、盛岡市報恩寺様を会場に第四
十九回みちのく緑蔭禅のつどいが開催され
ました。県内外各地より十六名の一般参加
を頂き、共に参禅修行を致しました。

両日ともに天候にも恵まれ、静謐な報恩
寺様の禅堂にて坐禅をし、自己を見つめな
おすことが出来たことは大変貴重な経験と
なりました。

参禅者の皆様にとっても有意義な時間を
過ごしたと感じて頂ければ幸いです。後援
を頂きました曹洞宗岩手県宗務所様の御支
援をはじめ、会員の皆様のたくさんの御随
喜ありがとうございます。



〈夜坐 法話に耳を傾ける〉



〈午前4時半 振鈴〉



〈静謐な報恩寺坐禅堂〉

永代供養・寺院仏具

永代供養墓のお勧め
納入実績 全国各地 御寺院
200ヶ寺以上

▼詳しくはお問い合わせ下さい▼



文化の香りをお届けする

ムナ

カタ

株式会社 宗 像

〒358-0034 埼玉県入間市根岸3-4番地1
TEL 04-2934-7020 FAX 04-2934-7066

盛岡 〒020-0143 岩手県盛岡市上厨川字新田92-8
TEL 019-648-0099 FAX 019-648-0167

<http://www.munakata-web.co.jp> E-mail: info@munakata-web.co.jp

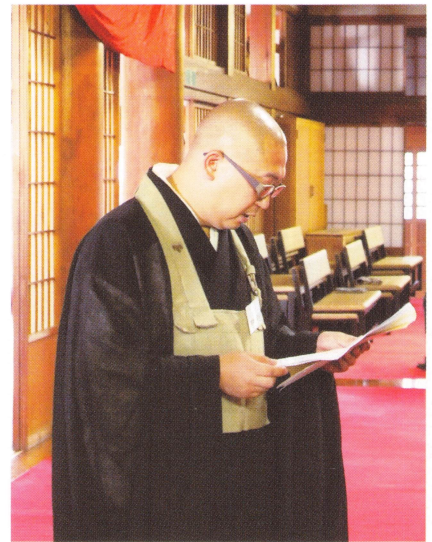
ココロ花咲く、ステキな旅を。

お客様満足 100%+αを追求するサービスマインド。
お客様の立場になる「想像力」、プラスアルファを創る「創造力」。
55年の実績と豊富な経験力で旅をクリエイティブする
トップツアー株式会社 盛岡支店
〒020-0022 岩手県盛岡市大通 1-11-13 盛岡フコク生命大通ビル6階
TEL: 019-651-8800 FAX: 019-653-2093 <http://www.toptour.co.jp>

◇緑蔭禅のつどひにひきこ

研修部長 長泉院住職 鈴木 道将

今年度は七月二十五日～二十六日の開催でした。初めての金曜日・土曜日の開催となり、例年より三時間遅れで開始いたしました。日程は午後四時の開講式～晩勤～行持説明～記念写真撮影～午後五時の薬石と開始早々慌ただしい一時間を過ごし、薬石の片付けを終え坐禅堂外単で坐禅指導をして、そのまま夜坐となりました。また、夜坐中には、第五教区金性寺ご住職松森弘隆老師の御法話を頂き初日の日程を無事終了し、二日目は、暁天座禅・朝課・飯台・座禅・写経等例年の行持を修行することができました。例年の日程からみると変更も多く、参禅者や随喜衆にも戸惑いがあったのではないかと思います。しかしながら随喜衆も柔軟に対応し、さらに参禅者の大半は、毎年参加されている常連の方で大きな問題もなく修行できたと感じております。ただ、今年初めて参加された方には慌ただしく過ぎられたのではないかと感じております。また不足した部分を常連さんが初心者先達している姿をみて、恥ずかしい思いと有難いと思う気持ちがあふれ交錯する貴重な体験をさせていただきました。



＜参禅者へ行持説明をする筆者＞

今回初めて研修部長として緑蔭禅の総務というお役目をいただきました。仕事の内容は日程進行の把握・全体の進行・行持での司会です。私も岩曹青に入会し何度も緑蔭禅に随喜させていただいておりましたが、いつも典座寮での随喜でした。そのため全体の把握という事が一番のプレッシャーでした。幸いにも井上雅友兄、玉手俊覚兄の二名の優秀な副部長に恵まれ三人で力を合わせ、総務の任を全うできました。なにより恵津森会長をはじめ会員の皆様が一致団結し緑蔭禅の集いが無事円成することができたことと感謝いたしております。あらためて参禅者の真剣な眼差し、そしてそれにも負けない青年僧侶の真剣な姿を客観的に見ることができました。



＜功の多少を計り、彼の来處を量る＞

来年は第五十回目の開催で平成二十七年七月十日～十一日を予定しています。今まで築き上げてきた諸先輩方のご苦勞と思いを無駄にすることなく、今後へと引き継ぐ重要な緑蔭禅の集いとなることと思います。今年の経験を基に、恵津森会長のもと一致団結し第五十回を迎えたいと思います。

結びに、青年会の益々のご発展と会員各位のご健勝と寺門興隆、震災で被災された方々の早期復興を祈念いたします。

合掌



<野田村 海蔵院にて>

◇東日本大震災被災地慰霊行脚

大震災以降、毎年行っており、今年度も東日本大震災被災地慰霊行脚を今年度も会員皆様のご協力のもと修行することが出来ましたこと感謝申し上げます。

今年度、第一回目となった被災地慰霊行脚は、七月三日(木)九戸郡野田村にて行いました。



<野田慰霊行脚>

午後一時半に野田村の海蔵院様を出発。二十六名の会員の参加を頂き、小一時間の道程を行脚致しました。まだまだ震災の爪痕残る被災地を見ると、言葉にならぬ感情が沸き起こります。

その後、午後二時半より、海蔵院本堂に於いて、慰霊法要、被災地の早期復興を願う復興祈願法要が厳修されました。



— けんぼくかんこう —
株式会社 岩手県北観光

株式会社 ジェイティービー特定パートナー店

[本社] 盛岡
[支店] 宮古駅前、北岩手、久慈、東京
[代理業] 岩手県北バス

盛岡市厨川1丁目17-18 〒020-0124
TEL : 019 (641) 8811 本社
019 (613) 2655 仏教旅行サービス部
FAX : 019 (641) 8844
URL: <http://www.kenpokukanko.co.jp/>

大本山御用達

御法衣



京仏具

創業1915年

株式会社 松本屋

梅花流法具指定販売店



加盟店

電話 075(343)1200(代表) FAX 075(371)4080
e mail : kyoto@matsumotoya.com URL : <http://www.matsumotoya.com>

第二回目の被災地慰霊行脚は、十一月十一日（火）岩泉町小本にて行いました。

正午に岩泉町小本の宗得寺様に集合。会員十三名の参加を頂きました。午後一時より、慰霊行脚を開始。秋晴れの空の下、小本を中心に一時間の道程を行脚致しました。鈴の音を聞いた地域の方々が道々に出ては手を合わせて、共に慰霊供養をして下さいました。



<岩泉町小本 宗得寺にて>



<小本慰霊行脚>

行脚後、宗得寺にある大津波慰霊碑の前で供養法要を行い、その後、本堂にて慰霊法要と復興祈願法要を厳修致しました。法要には宗得寺檀信徒を中心に地域の皆様にもご参列ご焼香を頂きました。また法要後には、地域の皆様と一緒に茶話会を行うことが出来ました。大震災犠牲者の月命日でもある十一月ということもあり、「あの日、あの時」の話も多く聞かれました。そのような中でも地域の皆様は笑顔で接し、行脚を労い、被災地全体の早期復興を願うお話も聞くことが出来ました。

今後も被災地慰霊行脚の活動を継続してまいります。一人でも多くの会員の皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

〒610-1104 京都市西京区大枝中山向2番地349
TEL.075-335-8737 FAX.075-335-3020

古衣全般の事なら、お任せください。
新調から、クリーニング・修理まで

草桶
KUSAOKE

0120-88-3992

有限会社 草桶法衣仏具店

<http://kusaoke.easy-myshop.jp/>



<茶話会 小本地域の皆様と>

◇ 第一回教養セミナー

『私の考えるお寺の未来』

平成二十六年九月三日（水）、ホテル森の風鶯宿を会場に今年度第一回目となる教養セミナーの研修が行われました。

講師に群馬県瑞巖寺住職、長谷川俊道老師を迎え、「私の考えるお寺の未来」と題して講義して頂きました。



＜講師 瑞巖寺住職 長谷川俊道老師＞



＜アイデアを出してみよう！＞

長谷川老師は、駒澤大学卒業後、平成二年より永平寺にて三年間の安居修行の後、パールハーバーにて七年半にわたり開教師をされました。

帰国後、瑞巖寺にて悩み相談、寺子屋、講演会など様々なイベントを開催。「生まれてから墓場まで」をモットーに開かれたお寺を目指し布教活動を行っております。



＜これからのお寺を考える＞

講義では参加者一人一人に「お寺とは何か？」「僧侶とは何か？」と問い掛け、これからのお寺の未来について語って下さいました。

講義中、たくさんの質問にも懇切丁寧にお応えを頂きました。長谷川老師のお人柄に触れると共に、お寺の未来を真剣に考える機会を頂き、参加者一同、大変有意義な研修となりました。

◇教区懇親会

『三陸鉄道南リアス線レトロ列車の旅』

平成二十六年十月二日(木)、岩曹青教区懇親会が開催されました。

今年度の教区懇親会は第九教区様を会場に「三陸鉄道南リアス線レトロ列車の旅」の研修を行いました。



<記念撮影>



<豪華絢爛な車内>

語り部ボランティアさんのお話を聞く

会員二十五名の参加を頂き、午後二時四十分に大船渡は盛駅を出発。語り部ボランティアのお話を聞きながら、まだまだ震災の爪痕残る釜石駅までの区間を往復致しました。

三陸鉄道南リアス線は二〇一四年四月に釜石〜吉浜区間の運転を再開。南リアス線の全線が再開通となりました。

絢爛豪華なレトロ列車の車窓からは、まだまだ復興の道が遠く思われる景色が広がり、改めて私たちに出来る事は何かの考えさせられました。

第九教区青年会の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。



<釜石駅にて折り返し>



<復興に向けて>

第39回曹洞宗青年会東北地方集会 秋田大会



＜第一部「東日本大震災 追悼と復興への祈り」＞

平成二十六年十月二十九日(水)、第三十九回曹洞宗青年会東北地方集会秋田大会がキャッスルホテルを会場に開催されました。

第一部では、声明と詠讚歌による「東日本大震災 追悼と復興への祈り」が厳修され、第二部では作家・竹田恒泰氏による「古事記と日本人の心」の講演が行われました。第一部、第二部とも一般記念講演には東北内外から、一一〇〇名もの方が来場され、大変盛会な催しでした。



＜記念式典 絡子伝達＞

記念式典では次期開催県の発表があり、第四十回大会の会場に岩手県での開催が決定致しました。岩手県曹洞宗青年会会員一同が一丸となって記念すべき大会を成功させたいと思っております。皆々様の御支援御協力を切にお願い申し上げます。



＜第二部 竹田恒泰氏による講演＞
「古事記と日本人の心」

東北地協 40周年記念大会

東北地方集会「岩手大会」

平成27年11月4日(木)

ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING